

【小金井市】 校務DX計画

小金井市は、令和4年度に校務用サーバ及びシステムを更新し、インターネットから遮断されたオンプレミス型の構成で校務系ネットワークを運用している。

高度な機密情報を取扱うことを想定したシステムとしては、セキュリティ保持の観点から望ましい形で運用できていたところではあるが、①運用方法が硬直化し、在宅勤務やフリーアドレス型の業務場面に適応することが難しく、不都合が生じる、②サーバ維持や管理に際し、昨今のサプライチェーン・リスク等の影響が大きくなりつつあり、当面こうした状況が完全かつ確実に解消する情勢が見られない、③システム全体を自前とすることで、機器スペックなどがコスト面、物理的状況などの制約を受けやすく、インターフェース面での利便性確保や児童・生徒数、教職員数の増減に応じた機動的な構成変更が難しい、等の課題が生じつつある。

このため、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言を踏まえ、3つの項目について取組みを進める。

1 校務システムのクラウド化検討とゼロトラスト・ネットワークの導入

いわゆるゼロトラスト・ネットワークを導入することで、校務システムについてもクラウド環境下でも運用が可能となると考える。クラウド環境下での校務システム運用を可能とすることで、従来の固定化したシステム構成が適度なセキュリティを担保しつつ学校外や学校内の職員室以外の様々な場所での活用が可能となり、業務の効率化を実現するとともに、教職員の働き方改革にもつなげていく。

2 校務システム環境と教育系ネットワーク環境の統合

校務システム環境をクラウド化するために、校務システム環境をインターネット接続環境下でも使用できるよう再構築する。特に、ゼロトラスト化によるセキュリティ担保を重点項目とし、これまで完全に分離していた二つのネットワークを統合することで使用用途に応じて使い分けを余儀なくされていた端末を統合し、整備コストの合理化を進め、教職員の増減に応じた機動的な調達も可能とする。

3 校務システム共同調達の検討

教職員の多くは東京都教育委員会に所属しているため、自治体の枠を超えた異動も少なくない。他市からの転入に際し、これまで使い慣れてきたシステムが当市では使えず、当市で導入したシステムの使い方を一から学び直す必要が出てきてしまう。このような課題に対応するため、他自治体とのシステム共同調達の可能性を積極的に検討し、必要に応じて協議に参加することでコスト削減と教職員のシステム利用に際しての利便性向上に努める。